

1、 化学物質等及び会社情報

製品番号: 06145a
製品名: KP2in1 A 成分
主な用途: 建設・建築用防水注入材

製造者: KOESTER BAUCHEMIE AG
住所: Dieselstrasse 3-10, D-26607 Aurich, Germany
TEL.: 49-4941-9709-0
FAX.: 49-4941-9709-46
e-mail: produktsicherheit@koester.eu
WEB: www.koester.eu

販売者: カスター・ピーエヌ・ジャパン株式会社
住所: 横浜市戸塚区上矢部町 2916
TEL.: 045-443-5102(代)
FAX.: 045-443-5145
担当者: 尾崎晴彦
e-mail: info@koster-japan.com
WEB: www.koster-japan.com

2、 危険有害性

【GHS 分類】

区分 2: 皮膚腐食・刺激性、 2: 眼に対する重篤な損傷、
1: 呼吸器・皮膚感作

【GHS ラベル記載事項】

表示しなければならない有害成分: イソホロンジアミン-イソブチルジイミン

注意喚起用語: 危険

絵文字: GHS07



【危険有害性情報】

- ・眼への非常に強い刺激性
- ・皮膚、呼吸器系への刺激性
- ・皮膚へのアレルギー反応のおそれ
- ・皮膚接触による感作のおそれ

【注意書き】

《予防策》

- ・マスク等を必ず着用し、吸入を防ぐ
- ・保護用の手袋・メガネ等を必ず着用し、曝露を防ぐ
- ・屋外もしくは換気の良い場所でのみ使用する
- ・換気の悪い屋内で使用する場合、必ず呼吸保護具を使用
- ・汚染された作業着等は作業場から出さない
- ・作業時に使用した衣類はよく洗濯する

《応急措置》

- 眼: 水で数分間入念に洗う。コンタクトレンズは外す。刺激が続く場合、医師に診せる
- 皮膚: 多量の水で洗う。刺激が続く場合、医師に診せる
- 吸入: 新鮮な空気の中で安静にさせ、医師に診せる

3、 組成、成分情報

組成及び含有量(危険有害物質を対象)

成分名	CAS No.	含有量 Wt.%
イソホロンジアミン-イソブチルジイミン	54914-37-3	<3%

4、 応急措置

- 吸入: 新鮮な空気を吸う。改善されない場合、医師に相談する
- 皮膚: 直ちに汚染された衣類は替え、十分な水で洗い流す。刺激が続く場合、医師に診せる
- 眼: 水で入念に洗う
- 誤飲: 直ちに口をゆすぎ、十分に水を飲む

5、 火災時の措置

- 適切な消火材: 乾式消火材・泡を、火災周辺環境に応じて使い分ける
- 不適切な消火材: 高圧水
- 危険有害性: 燃焼により有害ガスが発生する (二酸化炭素、一酸化炭素)
- 消火時の注意:
 - ・自給式呼吸保護具及び化学防護服を着用する
 - ・発生したガス、蒸気、霧は、水を霧状に噴射して沈降させる
 - ・消火後、汚染された消火用水は分別して回収し、上下水道、地下水、河川等への流入を防ぐ

6、 漏出時の措置

- 人体に対する注意: 十分に換気し吸入しないようにする。直接触れないようにする
- 環境に対する注意: 上下水道・地下水・河川等への流入を防ぐ
- 回収・浄化方法: 砂・珪藻土等を用いて凝固させて回収し、規則に従って処理する

7、 取扱い及び保管上の注意

- 密閉した容器で、直射日光を避け、換気の良い場所に施錠して保管する

8、 曝露防止及び保護措置

- ・汚染された衣類は直ちに着替える
- ・休憩及び作業後毎に手をよく洗う。必要であればシャワーを浴びる
- ・作業時に飲食はしない
- ・ゴーグル、保護手袋等の適切な保護具を着用し、皮膚等を曝さない

9、物理的及び化学的性質

状態: 液体 臭い: 特徴的 色: 透明 融点: -27°C
沸点: 240°C 引火点: $>100^{\circ}\text{C}$ 爆発性: 爆発の危険あり
発火点: 380°C 燃焼促進性: あり 比重: $1.0\text{g}/\text{cm}^3$
粘度: $150\text{mPa}\cdot\text{s}$ 水溶性: あり

10、安定性及び反応性

反応性: 特になし
危険有害反応: 酸、塩基、酸化剤との発熱反応
避けるべき条件: 熱、直射日光
有害な分解成分: 二酸化炭素

11、有害性情報

《物質名》 イソホロンジアミン-イソブチルジイミン

急性毒性:

- ・経口 LD50 $>4150\text{mg}/\text{kg}$ (ラット)
- ・経皮 LD50 $>5000\text{mg}/\text{kg}$ (ラット)

感作性: 皮膚接触により過敏症発症のおそれ

刺激性: 眼への刺激性

12、環境影響情報

《物質名》 イソホロンジアミン-イソブチルジイミン

毒性: 水生生物に対し毒性

残留性・分解性: 分解される

生体蓄積性: 情報なし

土壌内移動性: 情報なし

毒性試験の結果

- ・急性魚毒性試験 LC50 $110\text{mg}/\text{l}$ (ゼブラフィッシュ、96h)
- ・藻類毒性試験 ErC50 $50\text{mg}/\text{l}$ (イカダモ/筏藻、72h)
- ・ミジンコ毒性試験 ErC50 $23\text{mg}/\text{l}$ (オオミジンコ、48h)

13、廃棄上の注意

- ・製品、容器等の廃棄は、許可を受けた処理業者に依頼する
- ・洗浄時の排水の上下水道・地下水・河川等への流入を防ぐ
- ・洗浄した空容器はリサイクル可能

14、輸送上の注意

危険性はない

1、 化学物質等及び会社情報

製品番号: 06145b

製品名: KP2in1 B 成分

主な用途: 建設・建築用防水注入材

製造者: KOESTER BAUCHEMIE AG

住所: Dieselstrasse 3-10, D-26607 Aurich, Germany

TEL.: 49-4941-9709-0

FAX.: 49-4941-9709-46

e-mail: produktsicherheit@koester.eu

WEB: www.koester.eu

販売者: カスター・ピーエヌ・ジャパン株式会社

住所: 横浜市戸塚区上矢部町 2916

TEL.: 045-443-5102(代)

FAX.: 045-443-5145

担当者: 尾崎晴彦

e-mail: info@koster-japan.com

WEB: www.koster-japan.com

2、 危険有害性

【GHS 分類】

区分 2: 皮膚腐食・刺激性、 2: 眼に対する重篤な損傷、 1: 発癌性、
1: 呼吸器・皮膚感作、 3: 特定臓器への毒性(1 回曝露)、
2: 特定臓器への毒性(複数回曝露)

【GHS ラベル記載事項】

表示しなければならない有害成分: ・4,4'-ジフェニルメタンジイソシアネート
・4,4'-ジイソシアネ酸メチレンジフェニル

注意喚起用語: 危険

絵文字: GHS07、 GHS08



【危険有害性情報】

- ・眼、皮膚、呼吸器系への強い刺激性
- ・皮膚、呼吸器系のアレルギー反応のおそれ
- ・吸入、皮膚接触による感作のおそれ
- ・発癌性の疑い

【注意書き】

《予防策》

- ・使用前に取扱説明書を入手する
- ・すべての注意事項を熟読し、理解するまでは使用しない
- ・マスク等を必ず着用し、吸入を防ぐ
- ・保護用の手袋・メガネ等を必ず着用し、曝露を防ぐ
- ・屋外もしくは換気の良い場所でのみ使用する
- ・換気の悪い屋内で使用する場合、必ず呼吸保護具を使用

・汚染された作業着等は作業場から出さない

・作業時に使用した衣類はよく洗濯する

《応急措置》

眼: 水で数分間入念に洗う。コンタクトレンズは外す。刺激が続くなら医師に診せる

皮膚: 多量の水で洗う

吸入: 新鮮な空気の中で安静にさせ、医師に診せる

3、 組成、成分情報

組成及び含有量(危険有害物質を対象)

成分名	CAS No.	含有量 Wt.%
4,4'-ジフェニルメタンジイソシアネート	101-68-8	<100%

4、 応急措置

吸入: 新鮮な空気を吸う。呼吸困難な場合、医師に診せる

皮膚: 汚染された衣類は替え、十分な水で洗い流す。刺激が続く場合、医師に診せる

眼: 目を閉じないようにし、水で5分以上入念に洗う。その後、医師に相談する

誤飲: 直ちに口をゆすぎ、十分に水を飲む。嘔吐がある場合は要注意

5、 火災時の措置

適切な消火材: 乾式消火材・泡を、火災周辺環境に応じて使い分ける

不適切な消火材: 高圧水

危険有害性: 燃焼により有害ガスが発生する(二酸化炭素、一酸化炭素)

消火時の注意:

- ・自給式呼吸保護具及び化学防護服を着用する
- ・発生したガス、蒸気、霧は、水を霧状に噴射して沈降させる
- ・消火後、汚染された消火用水は分別して回収し、上下水道、地下水、河川等への流入を防ぐ

6、 漏出時の措置

人体に対する注意: 十分に換気し吸入しないようにする。直接触れないようにする

環境に対する注意: 上下水道・地下水・河川等への流入を防ぐ

回収・浄化方法: 砂・珪藻土等を用いて凝固させて回収し、規則に従って処理する

7、 取扱い及び保管上の注意

《取扱い》

- ・局所吸引装置を使用する等、作業区域内の換気を十分に行う
- ・発生するガスにより、密閉された保管容器内に過剰圧力がかかる

《火災・爆発対策》

通常の防災対策

《保管》

- ・密閉した容器で、直射日光を避け、換気の良い場所に施錠して保管する

・食料品、飲料品及び飼料から遠ざけておく

8、曝露防止及び保護措置

- ・使用者に労働医学上の予防検診を受けさせる
 - ・局所吸引装置を使用する等、作業区域内の換気を十分に行う
 - ・汚染された衣類は直ちに着替える
 - ・休憩及び作業後毎に手をよく洗う。必要であればシャワーを浴びる
 - ・作業時に飲食はしない
 - ・ゴーグル、保護手袋等の適切な保護具を着用し、皮膚等を曝さない
- 【曝露限界値】(EH40)

イソシアネート(メチルイソシアネートを除く)

0.02mg/m³: TWA (8h) 0.07 mg/m³: STEL (15min.)

9、物理的及び化学的性質

状態: 液体 臭い: 特徴的 色: 褐色 融点: <0°C

引火点: >100°C 爆発性: 爆発の危険あり

燃焼促進性: なし 蒸気圧(20°C): 0.0001hPa.

比重: 1.1g/cm³ 粘度: 150mPa·s 水溶性: なし

10、安定性及び反応性

反応性: 水と反応し二酸化炭素を生成

危険有害反応: アルコール、アミンとの発熱反応

避けるべき条件: 直射日光、換気の悪い場所

有害な分解成分: 二酸化炭素

11、有害性情報

《物質名》 4,4'-ジフェニルメタンジイソシアネート
4,4'-ジイソシアン酸メチレンジフェニル

急性毒性: 吸入すると危険

・経口 LD50 >9200mg/kg (ラット)

ATEmix: 蒸気 推定 11.22mg/l

: 空中の微粒子 推定 1.531mg/l

感作性: 吸入及び皮膚接触により過敏症発症のおそれ

刺激性: 眼、皮膚への強い刺激性

吸入後、肺の軽い炎症、咳、呼吸困難

反復的曝露の影響: 深刻な健康被害の危険

生殖における影響: 発癌性のおそれ

12、環境影響情報

毒性: 水生生物実験結果の範囲では無害

残留性・分解性: 分解されにくい

生体蓄積性: なし

土壌内移動性: 情報なし

13、廃棄上の注意

- ・製品、容器等の廃棄は、許可を受けた処理業者に依頼する
- ・洗浄時の排水の上下水道・地下水・河川等への流入を防ぐ
- ・洗浄した空容器はリサイクル可能

14、輸送上の注意

危険性はない